

平成 28 年度
東京藝術大学 大学院映像研究科 アニメーション専攻
第 2 次試験 筆記試験 専門試験
平成 28 年 2 月 17 日 (水) 14:00～17:00 (試験時間 180 分)

【問題用紙】

問題

- 「創造表現」分野を志望する受験生は、問題 (A) を、
「研究・理論」分野を志望する受験生は、問題 (B) の問いに答えなさい。
※「創造表現」分野は、平面アニメーション領域、立体アニメーション領域、企画制作領域。
「研究・理論」分野は、研究・理論領域。

注意事項

- ・ 解答時間は午後 14 時 00 分から午後 17 時 00 分の 180 分です。
- ・ 解答用紙が足りない場合には、手を上げて監督官を呼んで下さい。
- ・ 特別な指定のない限り解答は日本語で書きなさい。
- ・ 試験開始から 90 分経過後から、解答が終わった人は時間終了前に退席可能です。退席したい場合は手を挙げて試験官を呼んで下さい。
- ・ 配布物は全て回収しますので、持ち帰らないこと。
- ・ 問題 (A) は、画材は単色、一種類の画材を使用して描くこと。
- ・ 問題 (B) の解答は日本語に限ります。

問題 (A)

問1 これから再生する音楽を元にアニメーションを構想し、絵コンテを描きなさい。
(※試験開始から10分、30分、60分の3回、音楽を再生します)

問2 配布された用紙に描かれたポーズからはじまるアニメーションを描くことを想定し、キーフレーム(原画)を同一の画面上に描きなさい(15~20ポーズ程度)。アクションの内容は以下の指示に従うこと。

「一人の人物がバスケットボールの試合中、敵をかわしつつ、ゴール下まで移動し、シュートする」

注意点：

- ・人物とボールを描くこと。敵は描かなくてよい。
- ・人物は一定のサイズで描くこと。
- ・人物を人物以外のものに変形させないこと。
- ・複数のポーズ同士の線が重なっても構わない。

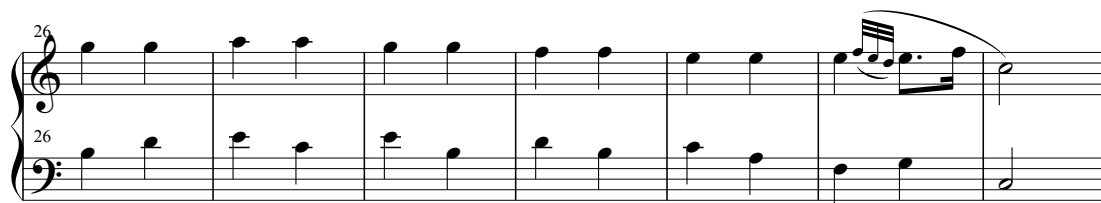
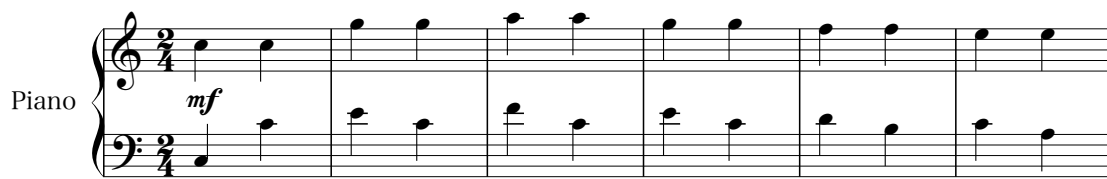
問題 (B)

問1 あなたが当大学院で行いたい研究テーマについて、専門分野以外の人にもその背景と意義がわかりやすく伝わるダイアグラムを1点、描きなさい。

問2 問1で描いたダイアグラムに言及しながら、あなたの研究テーマと研究手法について、具体的かつ論理的に説明しなさい。

<問題 (A) 参考資料>

Piano *mf*



<問題 (A) 参考資料>

Musical score for measures 38-42. The score is written for piano in treble and bass clefs. Measure 38 starts with a treble clef and a bass clef. The treble staff contains a melodic line with a slur over measures 38-40. The bass staff contains a rhythmic accompaniment with triplets in measures 38, 39, and 40. The number '3' is written below the bass staff for each of these triplet measures.

Musical score for measures 43-46. The score is written for piano in treble and bass clefs. The treble staff contains a melodic line with a slur over measures 43-46. The bass staff contains a rhythmic accompaniment with a consistent eighth-note pattern.

Musical score for measures 47-48. The score is written for piano in treble and bass clefs. Measure 47 starts with a treble clef and a bass clef. The treble staff contains a melodic line with a slur over measures 47-48. The bass staff contains a rhythmic accompaniment with a consistent eighth-note pattern. The piece ends with a double bar line at the end of measure 48.